

令和元年度 第2回政策推進会議報告

日 時 5月8日 9時30分～11時23分

場 所 4-1会議室

出席者 19人

1 令和元年度重点課題事項の公表について

各局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

【総合政策局パート】

- ・2つめに「ファミリー世帯向け」アンケートの実施とあるが、内容はどのようなものか。住宅マスタープランの改定の際に参考にしたい。
- 住宅の部門と都市政策課でチームを組んで、アンケートの内容についても議論して一緒に作っていく予定にしている。

【総務局パート】

- ・3つめに個人情報の匿名加工情報とあるが、法人情報も検討されるのか。
- 現時点では法人情報は視野に入れていないが、何か各局で発想があれば提案していただきたい。いずれにしても、情報を政策的に使うということがポイントとなる。

【経済環境局パート】

- ・2つめで、6月に水産物部門卸売業者入場可否判断とあるが、これは今年度末に基本方針を策定するために逆算してこの時期になっているのか。
- 昨年度から交渉を継続しているところからの回答がそれくらいの時期にもらえる見込みなので6月としている。

【公営企業局パート】

- ・2つめの下水道中期ビジョンのところで、雨水貯留管の現計画案との比較検討を行うとあるが、市民合意を得る方法について、具体的な予定があれば教えてほしい。
- 特に現時点ではない。前年度に示した案では公園への影響が大きく、陳情等もあったので、早い段階で複数案を市民に説明し意見を聞き、最終案をまとめていきたいと思っている。
- ・恐らく市民意見聴取プロセスの見直しの先例となると思うので、総合政策局と連携して進めていただきたい。

【教育委員会事務局パート】

- ・2つめの最後の項目に、高校生が正解のない問いに取り組むとあるが、具体的にどのようなことをするのか。
- ・(市長) 企業と一緒にやっ払いこうとしている。例えば、「こういう問題を解決するような新サービスや新商品はないか」というようなお題を企業に出してもらって、それを一緒にプロジェクト形式で考えていくというのがメインとなる。
- 1+1=2など、決まった形式を教えるのが学校だが、そういうものではなく自分たちで考えて調べてアイデアを出すような活動を課題解決学習として実施しようとしている。
- ・(市長) 文科省も方針として出しているが、いち早くやり始めている企業があり、他の企業ともコラボしながら学校をサポートするようなプログラムを提供しているので、そこと連携し

てやっっていこうと考えている。この取組はやはり先生の意識改革が非常に求められる。要するに、これまでのように自分が知っていることを伝達するという教育ではなく、問いに対して向かっていく子どもたちをサポートする人として教室に立たないといけない。そういう先生のあり方も含めて、民間のノウハウを吸収しようというプログラムになっている。

2 プレミアム付商品券事業（概要）について

経済環境局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

・（森山副市長）コールセンターの電話番号は決まっているのか。いつから対応が可能か。

→5月末に設置予定である。当初は店舗からの公募に対する問い合わせを想定している。市民からは6月以降に市報等で広報してからを想定している。

・（森山副市長）広報活動は6月の市報が最初になるのか。そのときの問い合わせ先としてはどこを掲載するのか。

→6月の市報で初めて公開し、そこにはコールセンターの電話番号を掲載する予定である。しかし、効果的な広報とするため時期については調整する可能性がある。

・商品券販売店舗、利用可能店舗は市内限定か。

→そうである。

3 その他

○ 総合政策局長から、A-Lab Artist Gate 2019 について説明。

以 上